

(別記)

令和 8 年度吉田町水田収益力強化ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

本町では、温暖な気候や水資源に恵まれた立地条件を活かした多種多様な農産物の生産が行われ、水稻、レタス、スイートコーン、茶、サツマイモのほか、温室メロン、イチゴ等の果物をはじめ、花きなどの施設園芸、畜産など多様な農業経営が展開されている。

令和 7 年 9 月の台風第 15 号による竜巻被害等により、農業施設や作物に大きな被害が生じ、多くの農業者が厳しい状況に置かれたが、県や町と連携しながら復旧に向かい安心して営農できる環境づくりに努めている。

2 高収益作物の導入や転換作物等の付加価値の向上等による収益力強化に向けた産地としての取組方針・目標

経営農地が分散傾向にあるため、農地の集積・集約化により作業効率の向上とともに、収容量の増加、収益力の強化に取り組む。

3 畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

不作付け地となっている町内の水田を把握し、解消に努める。また、耕作放棄地となっている水田についても、町の荒廃農地再生事業費補助金を活用し、水田・畑としての作付けの推進を図る。また、地域における水稻作付水田と転換作物作付の効率的な転換について、担い手農家を中心に関係機関とともに、ブロックローテーション体系について検討する。

4 作物ごとの取組方針等

(1) 主食用米

静岡県農業再生協議会で提示する県産米の需要予測を基に、需要に応じた米の生産に取り組む。

(2) 備蓄米

(3) 非主食用米

ア 飼料用米

イ 米粉用米

ウ 新市場開拓用米

エ WCS 用稲

オ 加工用米

地域の実需者の需要動向を踏まえながら、担い手を中心に作付けを推進していく。

(4) 麦、大豆、飼料作物

(5) そば、なたね

(6) 地力増進作物

(7) 高収益作物

5 作物ごとの作付予定面積等	～	8 産地交付金の活用方法の明細
-----------------------	---	------------------------

別紙のとおり

※ 農業再生協議会の構成員一覧（会員名簿）を添付してください。

別紙

5 作物ごとの作付予定面積等

(単位:ha)

作物等	前年度作付面積等		当年度の 作付予定面積等		令和8年度の 作付目標面積等	
		うち 二毛作		うち 二毛作		うち 二毛作
主食用米	249		246		247	
備蓄米						
飼料用米						
米粉用米						
新市場開拓用米						
WCS用稲						
加工用米	1		1		1	
麦						
大豆						
飼料作物						
・子実用とうもろこし						
そば						
なたね						
地力増進作物						
高収益作物	58.93	49.15	60	51	61	52
・野菜	58.93	49.15	60	51	61	52
・花き・花木						
・果樹						
・その他の高収益作物						
その他						
・〇〇						
畑地化						

6 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	使途名	目標	前年度（実績）	目標値
1	レタス・スイートコーン・枝豆・パレイ ショ・タマネギ・ズッキーニ・ブロッコ リー・オクラ・キャベツ・エゴマ（基幹 作）	担い手加算（基幹作）	作付け面積の拡大	（7年度） 723a	（8年度）730a （9年度）740a
2	レタス・スイートコーン・枝豆・パレイ ショ・タマネギ・ズッキーニ・ブロッコ リー・オクラ・キャベツ・エゴマ（二毛 作）	担い手加算（二毛作）	作付け面積の拡大	（7年度） 3193a	（8年度）3500a （9年度）3500a

※ 必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。

※ 目標期間は3年以内としてください。

7 産地交付金の活用方法の概要

都道府県名: 静岡県

協議会名: 吉田町

整理 番号	使 途 ※1	作 期 等 ※2	単 価 (円/10a)	対 象 作 物 ※3	取 組 要 件 等 ※4
1	担い手加算(基幹作)	1	2,007	レタス・スイートコーン・枝豆・パレイショ・タマネギ・ズッキーニ・ブロッコリー・オクラ・キャベツ・エゴマ	作付面積に応じて支援
2	担い手加算(二毛作)	2			

※1 二毛作及び耕畜連携を対象とする使途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は使途の名称に「〇〇〇(二毛作)」、耕畜連携の場合は使途の名称に「〇〇〇(耕畜連携)」と記入してください。

ただし、二毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができるものとします。

なお、耕畜連携で二毛作も対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、使途の名称に「〇〇〇(耕畜連携・二毛作)」と記入してください。

※2 「作期等」は、基幹作を対象とする使途は「1」、二毛作を対象とする使途は「2」、耕畜連携で基幹作を対象とする使途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする使途は「4」と記入してください。

※3 産地交付金の活用方法の明細(個票)の対象作物を記載して下さい。対象作物が複数ある場合には別紙を付すことも可能です。

※4 産地交付金の活用方法の明細(個票)の具体的な要件のうち取組要件等を記載してください。取組要件が複数ある場合には、代表的な取組のみの記載でも構いません。